

# 地域別構想



**① 西部地域 (安宅・牧)**  
 勸進帳のふるさと「安宅」や北前船などの歴史ロマンと、空路・道路の広域交通結節機能を活かし、さらに鉄路との連携強化による土地利用を高め、新しい産業を推進するまちづくりを進めます。

**② 北部地域 (犬丸・荒屋・能美)**  
 北部エリアの交通拠点の核となる明峰駅の交通利便性を図り、良好な農業環境の保全に配慮しつつ地域コミュニティの維持・活性化し、うるおい豊かな環境の中で健やかに暮らせるまちづくりを進めます。

**③ 中央地域 (稚松・芦城)**  
 有形無形の地域資源が息づく歴史的な街並みを保全・継承し、学びの拠点と空路との連絡強化により、多くの人が集い賑わいと魅力あふれる南加賀のターミナルを目指したまちづくりを進めます。

**④ 東部地域 (第一・東陵)**  
 東部丘陵地の緑豊かな自然や田園が調和し、新たな賑わい拠点と広域交通の高い利便性を活かした居住環境の充実と快適性を図り、ゆとりある暮らしを実感できるまちづくりを進めます。

**⑤ 国府・中海地域 (国府・中海)**  
 律令制最後の加賀国府が置かれた歴史文化と遊泉寺銅山跡など産業資源を活用し、公共交通アクセスの向上と地域コミュニティ活性化による里山とふれあい豊かに暮らせるまちづくりを進めます。

**⑥ 向本折・今江地域 (向本折・今江)**  
 舟運で栄えた面影が美しい水郷や地域の歴史・文化資源の魅力向上を図り、住宅地や高度医療・健康増進機能など多様な生活環境が調和する憩いとやすらぎのあるまちづくりを進めます。

**⑦ 木場潟周辺地域 (苗代・蓮代寺・木場)**  
 水郷木場潟や霊峰白山を望む、緑豊かな自然環境と田園などの景観を保全し、魅力ある里山里湖と賑わいある良好な居住環境が共生するやすらぎのある生活を実感できるまちづくりを進めます。

**⑧ 御幸・月津地域 (月津・串・日末)**  
 世界の第一線で活躍する企業の次世代につながるひとづくりと農業干拓地が広がる優良農地の保全を図り、ものづくりの活力にあふれ、快適な暮らしと自然環境が融和するまちづくりを進めます。

**⑨ 符津・矢田野地域 (符津・矢田野)**  
 ものづくりビジネスやスポーツ、環境王国の玄関口である粟津駅の機能強化を図り、学びの力とものづくり、南部エリアの拠点性を活かした多くの人々が交流する賑わいあふれるまちづくりを進めます。

**⑩ 粟津・那谷地域 (粟津・那谷)**  
 奥の細道ゆかりの寺社や山かげの御殿湯など歴史が息づく観光資源の魅力と回遊性を強化し、住む人・訪れる人が心地よさを共有できる、温泉と歴史、自然にふれるまちづくりを進めます。

# 小松市都市計画マスタープランを策定しました

## 目指すべき都市像と将来都市構造

### 基本理念

みななが学び活力あふれる  
 国際都市こまつ

〜新時代をリードするまちづくり〜

### 基本目標

- こまつの魅力づくりと交流推進
- 空路、鉄路、道路の優れたアクセス力
- 北陸の成長を牽引する産業都市
- 全ての人々にやさしいスマートな共生のまちづくり
- もっと便利に、もっと快適に、そして安全に  
〜くらしの質の向上を〜
- 豊かな自然、まちなみ、歴史文化を活かした  
都市景観の形成



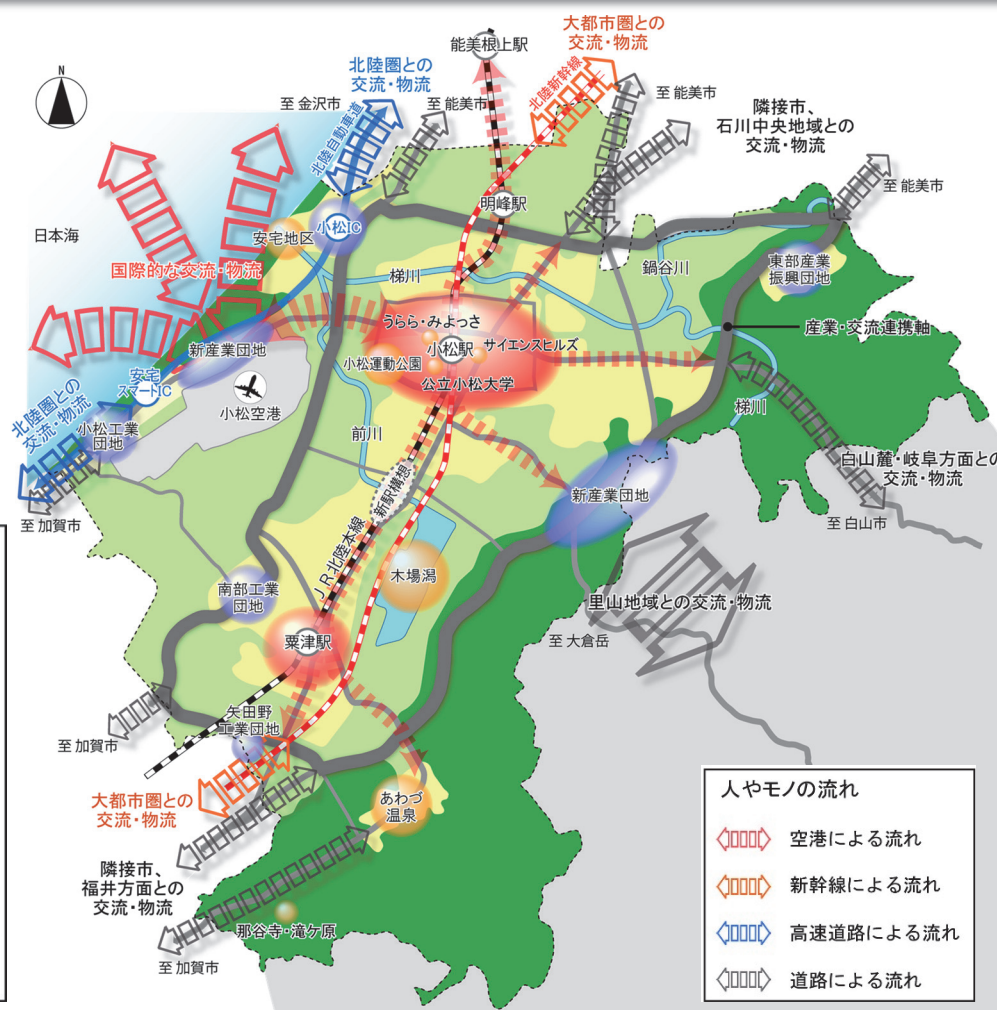
### SDGs 未来都市に選定



世界共通の開発理念「持続可能な開発目標 (SDGs)」に沿うものとして、SDGs 未来都市に小松市が選定されました。小松市都市計画マスタープランにおいても、SDGsの理念に沿った取組を明示し、ゴールの実現に向けて推進します。

## 将来都市構造図

- 将来都市構造図は、基本理念及び基本目標の実現に向けた都市全体の拠点、軸、エリアの配置の方針です。
- 今後も地域の活力を維持するとともに、医療・福祉・商業等の生活機能を確保し、高齢者が安心して暮らせるよう、地域公共交通と連携して、便利で快適なまちづくりを進めます。

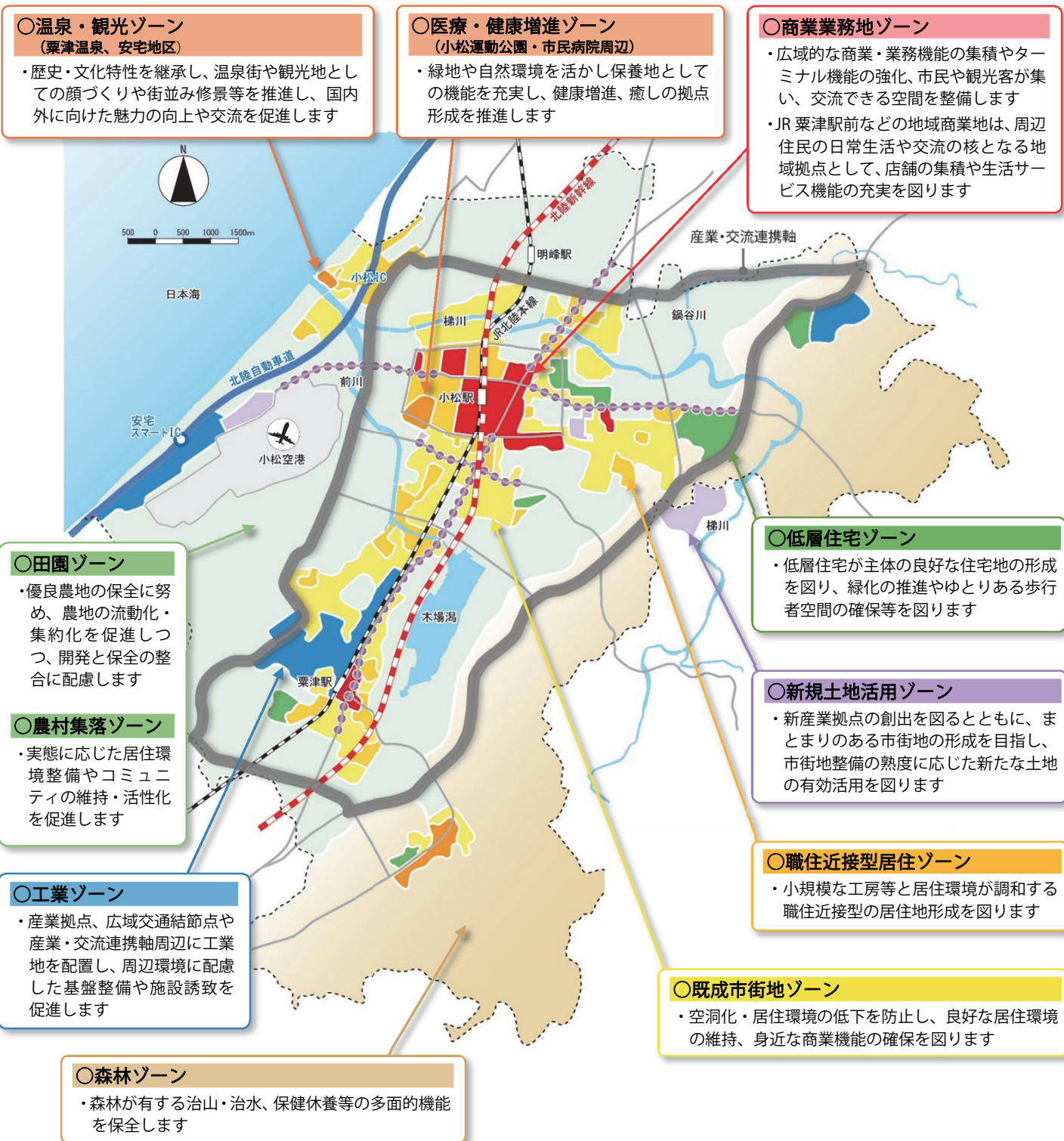


# 主要な整備方針

## 土地利用

- 都市機能の集約、空き家等への定住・移住の促進など既存市街地基盤を活用した居住環境改善でコンパクト化を図ります。
- 市街化区域の農地は、防災や環境保全効果を有する貴重な緑地として、地域の実情に応じた適切な保全・活用を図ります。
- 小松空港や北陸新幹線、北陸自動車道等の広域結節点としての地理的特性を活かします。
- 地震や風水害等から生活の安全を守り、安心して暮らせる土地利用を図ります。

### 土地利用方針図



## 交通施設整備

- 小松空港、北陸新幹線、JR 小松駅、小松 IC 等の広域交通機能の強化・充実を図るとともに、東西方向や環状機能を強化し、一体的な交通体系の構築を図ります。
- 将来の更なる長寿化、国際化を見据え、本市の玄関口である JR 小松駅のターミナル機能の強化、公共交通サービス水準の向上、バスやタクシーなどへの乗り継ぎの充実を図ります。
- 人にやさしいバリアフリー整備を進めるとともに、回遊性を高め、賑わいを生み出す道路整備、交通安全対策の推進に努めます。

### 交通網整備方針図



本編においては「土地利用の方針」、「交通施設整備の方針」のほか「市街地整備の方針」、「公園・緑地整備の方針」、「河川・汚水処理整備の方針」、「自然環境保全及び都市環境形成の方針」、「景観形成の方針」、「都市防災の方針」を定めています。